

校訓

令和4年度 秋保中学校 学校だより VOL. 4

目指す生徒像



しゃくなげ

〒982-0243 仙台市太白区秋保町長袋字大原 45 番地の 5
TEL:022(399)2840 FAX:022(304)7352
E-mail:akiu-jhs@sendai-c.ed.jp
<http://www.sendai-c.ed.jp/~akiu-jhs/>

仲間と共に深く考え進んで学習する生徒

心身ともにたくましく穏やかな生徒

心豊かで思いやりのある生徒

敬愛

体力

向上心

協働型学校評価重点目標 「将来への見通しを持ち、自分を高めようとする力の育成」

合唱コンクールに向けて

1時間目が始まる前と6時間目に、合唱の練習が行われています。

今月の19日(火)に行われる、4校(秋保中・広陵中・生出中・根白石中)合同合唱コンクールに向けて、「どうしたらもっと声が出るのか」「他パートに音がつかれてしまう…」「この部分の歌詞を大切に歌おう」などと相談しながら、指揮者やパートリーダーが中心となって練習しています。新型コロナウイルス感染予防のため、当日は3学年の保護者にしか見ていただくことができないのですが、一人一人工夫しながら練習しておりますので、お風呂から大声が聞こえてきてもあたたかく応援していただけましたら幸いです。



仙台市中総体特集②

前号に引き続き、先月行われました仙台市中学校総合体育大会において、各部の部長と顧問が「感じた思い」を紹介いたします。3年生の思いは、しっかりと後輩に引き継がれることを期待しています。

【女子卓球部】

女子卓球部は、団体で県大会ベスト4を目指して日々練習に励んできました。そのスタートになる大事な大会に、プレッシャー、不安や緊張、様々な思いが部員一人一人にあったと思います。そんな中、私たちは優勝しました。壮行式での応援、出発前の先生方からの応援、そしてずっと一緒に練習してきた部員からの応援。皆さんからの応援が私たちのマイナスの気持ちを晴らしてくれ、力となりました。本当にありがとうございました。(部長：S. A. さん)



見事に市中総体団体二連覇を成し遂げました。生徒の努力が結果として表れたことに、とても感心しています。大会前の練習試合などの様子から当たり前と思いつつ、思った以上の内容に驚きを隠せません。県大会では女子卓球部の目標「県大会ベスト4」の先、東北大会出場を目指したいと考えています。個人戦は全員が3回戦進出と団体戦より驚きの結果を出しました。改めて卓球は団体の力が大切ということを知ることができました。(顧問：萩倉 学)

【男子バスケットボール部】

人って勝ちたい生き物だと再確認した。

バスケットボール部の中総体の結果は1回戦敗退だった。これは覆らない事実だ。でも、全てを出せた。Wスコアで完敗だったけど、楽しかったし、なぜか嬉しかった。最善を尽くしたつもりだ。でも悔しかった。不思議な気持ちだった。両方の想いが同時に込み上げてくる。自分の中の大人は、結果よりも過程が大切だと言い、自分の中の子どもはそれに納得しない。そんな大人と子どもの狭間。

(部長：S. Y.さん)



もちろん、負けて悔しい気持ちがあります。しかしそれ以上に、何というか、清々しいのです。それはきっと、私達が持てる力全てを出し切ったからです。一人一人がチームのために自分の役割を全うしたからです。最後の最後の0.1秒まで諦めず、勝利を目指して戦ったからです。結果よりも過程に価値を見出すことができたこの経験は、一生の糧になります。そして、そのようなチームの一員であったことを、私は誇りに思います。

(顧問：菅原 智広)

ベンチから生徒たちの試合を見させてもらいました。

それぞれの生徒が自分の課題に果敢に挑戦し、それぞれの課題をクリアしたという意味で勝敗を超えて満足のいく試合だったように思います。特に3年生については自分の限界に挑戦して力を出し切っていて、その姿に感動しました。1, 2年生もきっと先輩たちの姿から学ぶことがたくさんあったように思います。先輩から後輩にこの良き伝統が継がれていくことを望みます。

(顧問：菅原 智)

【男子卓球部】

僕は、今回ベスト4まで行くことができ、目標の県大会出場を達成しました。中学校で初めて卓球をして、去年の中総体や新人戦では、県大会まであと一步のところまで負けていました。ですが先生やコーチ、先輩たちに教えていただいた打ち方やサーブの出し方を思い出しながら、今の部員と協力して練習をしてきました。そういった練習や応援が積み重なって、県大会出場ができたのだと思います。県大会では勝ち進めるよう、より練習を頑張っていきたいです。

(部長：T. S.さん)



6月12日。3年生2名が最後の市中総体に参加しました。総勢3名の男子卓球部は個人戦のみの参加でしたが、試合前には円陣を組み、チームとして試合に臨みました。結果は学校ブログの通りですが、それぞれが気持ちを込めた試合をすることができたと思います。3年間、一つの競技にひたむきに取り組んだ経験は本人たちにとって何より宝物になったはずです。保護者の皆様、温かなご支援いただきありがとうございました。

(顧問：早坂 昌英)

【ひまわり学級卓球部】

いっしょうけんめい、練習してきました。山なりやサーブを気をつけて練習に取り組んできました。あいてがとどかない場所をねらいました。当日になって朝からきんちょうしていました。人がたくさんいてびっくりしました。他の学校とたたかいました。あいてが強くて、まけてしまいました。くやしかったです。みなさんから応援してもらったおかげで力になりました。応援ありがとうございました。

(H. N.さん)



新型コロナウイルス感染症の影響で、3年生は初めての大会出場となりました。大会の雰囲気も分からないまま会場に足を踏み入れ、想像以上の人の多さに圧倒されていましたが、試合が始まると練習の成果を十分に発揮し、点数を重ねることができました。しかし、相手の粘り強さに力及ばず……。試合後に込み上げてきた悔し涙は、今まで一生懸命に練習に取り組んできた証であり、今後の生活にプラスになる経験になったのではないかと思います。緊張や不安があった中、堂々とコートに立って最後まで諦めずに戦えたことに自信を持って、これからも様々なことに挑戦してほしいと思います。

(顧問：穂上 葵)